

公表

令和7年度 事業所における自己評価結果

事業所名	通所支援事業所 ほほ笑み		公表日		2026 年 3 月 9 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		室内での集団活動において、支障のない空間を確保をしています。	安心・安全に過ごせる環境作りを継続します。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	曜日によっては利用定員を調整をしながら受け入れています。	職員数がもう少し多ければ安心できるというお声を保護者の方よりいただいております。適切な人員配置となるように努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		利用日によっては活動室を区切ってスペースを確保し、パーテーションを使って利用者間で刺激し合わない環境作りをしています。	古い木造住宅であるため、建物の構造上バリアフリー化が難しいのが現状です。必要に応じて職員が安全に留意して援助を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		室内の清掃や整理整頓に努めています。感染症の予防のため、毎日室内や玩具の消毒を行っています。遊具や本の配置や表示の方法をわかりやすいように工夫しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		1階と2階に各2室の活動場所があり、必要に応じて個別の活動を実施しています。落ち着いて過ごせる空間の確保に努めています。	
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		会議にて意見交換を行い、業務改善に努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員間で評価表をもとに改善点を検討しています。ホームページにて結果を公表しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年度末に事業所内で業務の反省を行い、改善点を検討して新年度計画に反映させています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価は行っていません。今後の検討課題としていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		同一法人内での施設見学、講師を招聘しての研修会に参加。外部研修等は希望制で参加しています。虐待防止研修は全職員が必ず受講しています。	
適切 な 支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		令和6年9月に支援プログラムを作成。保護者配付後にホームページにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		利用開始時はフェイスシートの情報や面談を通して課題や要望をもとに作成。その後は活動の様子観察を中心に計画しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		全職員で個々のお子さんの活動の様子について情報共有し、支援の改善を目指して検討しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		行動観察と支援記録により状況を把握していますが、ツールを用いたアセスメントの実施が課題です。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		個別の支援計画の様式を変更し、左記項目に沿った計画を作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		長期休業中の計画は事前に職員間で検討の上、立案しています。平日の活動についても天候やその日の状況を勘案して活動内容を決めています。	

へ 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用人数や個別の課題に合わせて活動内容や外出先を計画しています。体力作りや気分転換を兼ねた屋外活動、制作活動や集団遊びによる室内活動を組み合わせています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		一人一人の発達に応じ、個々の課題に取り組めるように支援しています。無理なく集団参加ができるように、気持ちの安定を第一にした支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日の打ち合わせで、活動の内容や支援の留意点について職員間で確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日の打ち合わせで、必ず前日の活動状況の報告と支援の振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個別支援日誌に活動の様子や支援の記録を記載し、個別支援計画の作成や評価に反映させています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6か月ごとにモニタリングを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		日常生活の充実と自立支援のための活動については、身の回りの事への取り組みや役割活動を重点に支援しています。外出の機会や屋外活動を通して多様な経験が accrue するように活動内容を工夫しています。	地域交流については積極的に行っていませんため、今後の課題です。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		設定した集団遊びや屋外活動以外に、個々の興味や力量に合わせて遊びを選択したり、子ども同士で話し合っ決めて決める場面を作るようにしています。	子ども同士で話し合うことは大事にしながらも、遊びや活動場所が固定されないように助言や働きかけの工夫に努めています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		基本的には児童発達支援管理者が参加し、必要に応じて日頃から関わることが多い担当者が出席しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて関係機関との連携を図っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		ご家庭の協力のもと、学校の年間計画や週間予定表をいただき確認を行っています。学校によっては事業所へのメール送信制があり、学校行事や予定の変更が知らされています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			就学前の療育機関と直接情報を共有することはありませんが、相談室利用の方については就学前の様子について情報をいただくことがあります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要な場合には、利用相談室の方が主導で学校、放課後デイ、進路先の事業所、保護者も含めた支援会議の場で情報提供をしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		定期的に地域の児童発達センターの方の来所があり、助言を受けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			コロナ禍以降、積極的に交流の機会は設けていません。地域の公園で一緒に遊ぶなどの交流はあります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		札幌市厚別区自立支援協議会主催の研修会、交流会に積極的に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時に活動の様子をお伝えしたり、連絡帳のやりとりを通して情報交換に努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			現在は行っていませんので、今後の検討課題といたします。ご意見を伺い、保護者の皆様が参加できる研修の場の設定や情報提供に努めます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時の面談で必ずご説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画の説明後に同意を得ています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎時やご希望のある場合には面談、あるいはお電話で左記の内容についてお話しさせていただきますことがあります。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	今年度、保護者からの希望があり、進路について卒業生の保護者から話を聴く機会を設けました。	今後はご意見を伺い、保護者の皆様に参加できる研修会や話し合いの場の設定に努めます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			苦情があった場合には、すみやかに対応すると共に、全体に周知すべきことはお知らせしていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		年6回、保護者向けにおたよりを発行して活動の様子や予定についてお知らせしています。今年度よりInstagramを併用しての情報発信に取り組んでいます。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		Instagramの開始に際し、特に写真の取り扱いには書面で保護者の同意を得て、細心の注意を払っています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		言語指示が苦手なお子さんや意志表出の難しいお子さんには写真や絵カードを使う等、個々に合わせた方法でやりとりを行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		一昨年は畑作りや行事への招待を通して地域の方との交流ができましたが、今年度は実施に至りませんでした。日常的に町内の方々と関わる場面から価値に溶け込めるように努めます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		安全管理規定・緊急時対応マニュアルを作成し、全職員に周知徹底しています。安全管理規定については保護者に配付しています。	不審者侵入を想定した避難訓練が未実施です。新年度に検討計画します。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定し、防災用品の準備等の対策をすすめています。地震と火災時の避難訓練を年2回（6月・3月）実施。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時に保護者と確認しています。お子さんによっては発作時の対応や救急搬送については医療機関より指示書をいただいで対応しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時にフェイスシートをもとに保護者と面談し、確認をしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全管理規定・緊急時対応マニュアルを全職員に周知徹底しています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			外への飛び出し防止のための方策をとうご要望がありました。基本的には危険のないように職員がついて対応していますが、必要に応じて施設をすることもあります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事故記録を作成し、再発防止のために職員間で対応や体制について検証しています。施設設備の改善や対応の方法について検討し安全確保に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止・権利擁護研修の全職員が参加し、法人内の虐待防止委員会に管理者が出席しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		当法人の「身体拘束禁止に関する指針」を職員全体に周知。個別支援計画に記載をしてご説明しています。		